スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県恵那市

自 治 体 名 ： 岐阜県恵那市
担 当 課 名 ： スポーツ課
電 話 番 号 ： 0573-26-2111

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	504.2㎢
人口	46,228人
公立中学校数	8校
公立中学校生徒数	1,209人
部活動数（運動部活動のみ）	48部活
地域クラブ活動数	30クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置予定あり
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

運動部活動については、休日部活動の地域展開は完了しており、一定の活動を行っているが、次のような問題を抱えている。

- 単一校区では、活動が難しい競技種目がある。
- 指導者の確保と指導者を確保するための支援が必要である。
- 恵那市の地域クラブの運営団体が設置されていない。
- 地域クラブの実施主体が保護者で会費を徴収せず、指導者や報酬が不足しており、持続可能なクラブ運営に課題がある。

令和7年度　恵那市認定生涯学習活動団体　中学生以下が参加する団体の内訳数
（令和7年6月調査）

	登録数	講師有	講師謝礼有	入会金	月会費	年会費	月・年会費両方
中学生のみ	29	20	8	4	17	10	3
中学生含む	33	23	10	4	20	7	2
小学生のみ	33	17	10	14	19	10	3

令和7年度　恵那市認定生涯学習活動団体　18歳以下の個人年間負担額別団体数
（令和7年6月調査）

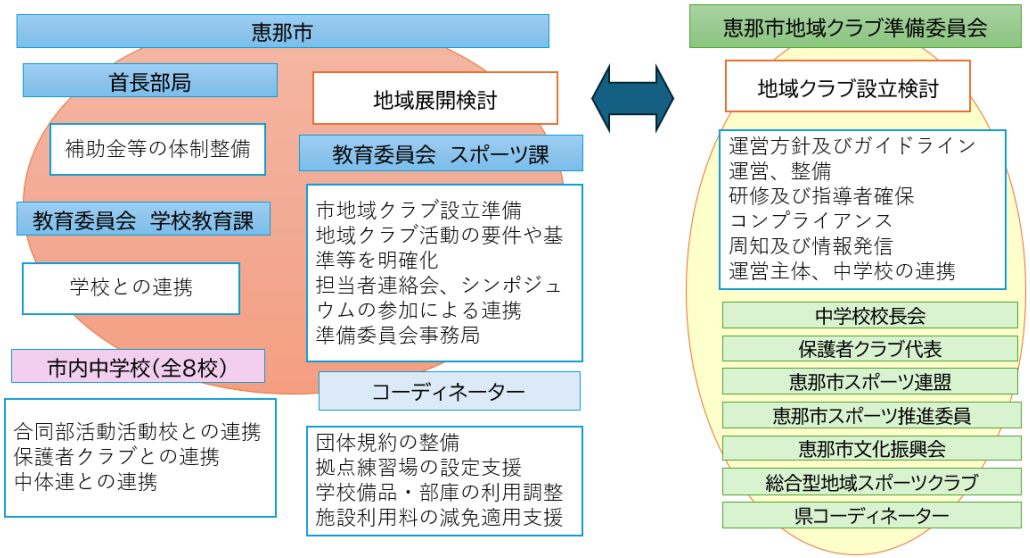
月会費と年会費	0円	1千円以上5千円未満	5千円以上1万円未満	1万円以上1.5万円未満	1.5万円以上2万円未満	2万円以上2.5万円未満	2.5万円以上3万円未満	3万円以上3.5万円未満	3.5万円以上4万円未満	4万円以上
団体数	36	11	9	21	8	9	2	1	6	6

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●恵那市における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会（スポーツ課）

- **恵那市地域クラブガイドライン作成**
- **保護者クラブ等の把握（スポーツ･文化）**
- **準備委員会開催**
- **指導者研修案内推進**
- **コーディネーターによる拠点練習場の設定支援**
- **コーディネーターによる学校備品･部庫の利用調整**

◉首長部局

- **補助金等の体制整備**

年間の事業スケジュール

4月	・市地域クラブ準備委員会設立 ・ガイドライン作成のアウトライン作成 ・先進地視察（土岐市）
5月	・市地域クラブガイドライン（案）の作成と審議
6月	・岐阜県主催　第1回地域クラブ意見交換会参加 ・市地域クラブガイドラインの確認 ・市地域クラブ名称の検討 ・各クラブ支援に関する意見聴取
7月	・市地域クラブガイドライン完成 ・説明会に向けて準備 ・各クラブ募集方法の検討 ・岐阜県主催ブロック別地域クラブ活動推進会議参加
8月	・スポーツ庁から補助金に関する指針　発表見込み ・市補助金の検討・説明会案内送付 ・教育委員会、議会への説明
9月	・説明会に向けて資料作成 ・登録するために必要な手続きの整理
10月	・説明会の実施（2か所）
11月	・設立総会、研修会の企画及び準備 ・クラブ登録受付準備
12月	・クラブ登録開始 ・クラブ登録審査 ・岐阜県指導員研修会
1月	・設立総会に向けて準備 ・クラブ登録審査
2月	・設立総会 ・クラブ一覧の作成　ウェブ公開・保険の申請
3月	・4月1日補助金申請受付準備 ・各クラブ書類整備支援

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		30クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		28クラブ（48部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		2クラブ
全体の指導者数	129人	全体の運営スタッフ数	158人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
恵那スケート場クラブ	競技団体	スピードスケート	• 平日3回 • 休日1回	平日 18:00-20:00 休日 9:00-12:00	中学1年：3人 中学2年：1人 中学3年：4人	通年	3人	4人	年会費 6,000円 徴収金 3,000円	中体連： 地域クラブ その他： 地域クラブ
HALF BLUE 恵那南クラブ	競技団体	バスケットボール	• 平日2回 • 休日1回	平日 18:00-20:00 休日 9:00-12:00	中学1年：2人 中学2年：7人 中学3年：1人	通年	5人	6人	月会費 2,000円	中体連： 地域クラブ その他： 地域クラブ
ENAJIC男子 Soft Tennis BoysTeam	競技団体	ソフトテニス	• 平日2回 • 休日2回	平日 19:00-20:30 休日 13:00-17:00	中学1年：4人 中学2年：13人 中学3年：12人	通年	5人	6人	月会費 2,000円	中体連： 地域クラブ その他： 地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

なし

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

◇ 関係団体・市町村等との連絡調整等に関する取組
・会議や打合せを通じて運営状況や課題を共有するとともに、必要に応じて対応方針の協議や役割分担の確認を行い、相互に連携した取組を推進
◇ コーディネーターに関する取組
・コーディネーターが中心となり、地域クラブ活動の推進に向けた企画立案や関係者との調整
◇ 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に関する取組
・運営団体および実施主体において、安定した運営体制の構築と活動の質の向上を図るための取組

取組の成果

○ 恵那市地域クラブ検討委員会を6回開催し、恵那市地域クラブの目的や方針を明確化することができた。
○ 恵那市地域クラブガイドラインを策定し、恵那市地域クラブ「ENAJOY」を設立して認定書授与式を実施することができた。
○ 恵那市地域クラブ「ENAJOY」の認定を受けたクラブに対して補助・支援を行うための準備を整えることができた。
○ コーディネーターは恵那市中学校長会と連携し、学校施設の利用、部活動の今後の在り方、中学生の参加に関する課題について検討を進めることができた。
○ 恵那市スポーツ連盟と協力し、スポーツ指導者講習会を実施することができた。

今後の取組における課題

- 恵那市地域クラブ ENAJOY のガイドライン、計画にもとづく運営
- 生徒へのクラブ活動の周知と参加促進
- 平日のクラブ活動の展開
- 生徒の希望に即した地域クラブ活動の展開

課題への対応方針

○ 恵那市地域クラブ運営協議会を設置し、関係団体や関係者が参画する検討の場を設け、恵那市地域クラブ「ENAJOY」の取組内容や今後の方向性について協議を行う。具体的には、運営体制や活動内容、課題の整理等について意見交換を行い、事業の円滑な推進に向けた検討を進める。
○ 中学校と連携して生徒アンケートを実施し、地域クラブ活動に対するニーズや意識の把握を行うとともに、地域指導者を対象にコンプライアンスに関する調査を実施する。これにより、現状や課題を把握した上で、適切な指導体制やルール整備に向けた対応策の検討を行う。
○ 地域クラブ活動の実施主体である代表者や指導者、保護者を対象としたアンケートを実施し、運営面や支援に関する課題やニーズを把握する。その結果を踏まえ、人的支援および財政的支援の在り方について具体的な検討を進め、持続可能な運営体制の構築を図る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

○ 地域クラブ運営を先進的に展開している土岐市を訪問し、地域クラブ運営団体の準備の進め方や運営方法について調査し、その内容をまとめた。
○ 恵那市認定生涯学習団体の登録状況を基に、負担額や予算等を調査し、地域クラブ運営に関連する事業として整理した。
○ 県内他市における地域クラブのガイドラインや補助制度について情報収集を行った。
○ 恵那市中学校長会にも参加し、運営団体・学校・実施主体それぞれの役割について協議した。
○ 市内中学校の運動場や器具庫・部庫を実地調査し、その結果を恵那市地域クラブ準備委員会へ報告した。

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

○ 恵那市地域クラブの説明会および設立総会の申込については、メール配信システムを活用して受け付けを行い、対象者への周知と申込手続きの円滑化を図った。これにより、申し込み状況の把握や参加者管理の効率化につなげた。
○ 恵那市地域クラブ「ENAJOY」のWebページを開設し、クラブの概要や活動内容、各種申請手続きに関する情報を掲載することで、利用者が必要な情報を随時確認できる環境を整備した。
○ 各種申請様式をエクセル形式に統一することで、入力やデータ管理の効率化を図るとともに、申請内容の整理・集計作業の簡便化を進め、事務処理の負担軽減につなげた。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

○ 恵那市地域クラブENAJOYガイドラインに次のことを位置付けた。
・指導者と責任者　・事故防止及び健康管理
・コンプライアンスの遵守　・施設の安全利用　・保険の加入
○ 中学校に実施主体が利用できる雷検知器、熱中症指数計を各中学校に設置した。
○ 恵那市スポーツ連盟と協力して、スポーツ指導者講習会を行った。
○ 設立総会に「スポーツハラスメントZERO協会」代表理事谷口真由美氏による講話を行った。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

恵那市地域クラブENAJOYガイドライン「9. 事故防止及び健康管理」
○ 安全確保・・・活動の安全を確保するため、施設や道具の安全点検を行う。また、活動時間及び活動場所の温度・湿度を含む気象情報を必ず確認し、その状況に応じて活動時間や場所の変更、中止等を適切に判断する。
○ 安全対策・・・スポーツ庁の「ここスポ　スポーツ活動時の安心・安全対策」を参照し、活動内容に応じた安全対策を講じる。
○ 事故防止と緊急対応・・・日本スポーツ振興センターが発行する『スポーツ事故防止ハンドブック』『スポーツ事故対応ハンドブック』を参考にし、代表者だけでなく参加者全員が、緊急時に迅速な救護措置を行えるようにする。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

恵那市地域クラブ検討委員会を6回開催し、市内の部活動の実態や課題を整理するとともに、恵那市地域クラブの目的や方針を明確化した。

また、地域クラブの運営方針や運営計画を示したガイドラインを策定し、「恵那市地域クラブ ENAJOY」を設置して認定式を実施した。さらに、ENAJOYへの入会・認定・退会等の手続きを定めた要綱を整備し、クラブ設立を支援するための説明会を2回開催したほか、説明資料や申請様式をホームページに掲載し、個別相談にも対応した。

認定クラブに対しては、拠点練習場や備品の利用、利用料減免等の補助・支援を行うための準備を整えた。また、恵那市スポーツ連盟と連携して指導者向けのスポーツ指導者講習会を開催し、指導体制の強化を図った。

認定クラブ紹介のパンフレットを作成して市内中学生に配布し、地域クラブ活動の周知を進めたほか、恵那市中学校長会と連携し、学校施設の利用や部活動の今後の在り方、中学生の参加に関する課題について検討を進めることができた。

●成果の評価

恵那市では、これまで地域クラブの運営団体が存在しなかったが、ガイドラインの策定により「恵那市地域クラブ ENAJOY」を設置し、昨年度の課題を解消することができた。認定されたクラブは30団体であり、そのうち2団体は従来の中学校部活動では扱われていなかった種目である。これにより、これまでは中学校の部活動保護者会を中心に運営されるケースが多かったクラブが、規約に基づき代表者・指導者・会費等を明確にした組織として再構築される等、運営体制が整備された。

また、同一種目であっても目的や活動方針が異なるクラブが存在することが明らかとなり、生徒が自身に合ったクラブを選択できる機会が広がった。さらに、拠点練習場所や部庫・備品等の利用について、中学校とクラブとの取り決めを明確化できたことも大きな成果である。

●今後に向けて

恵那市地域クラブ ENAJOY の取組を継続的に検討するため、恵那市地域クラブ運営委員会を設置し、協議の場を整えた。

また、中学校と連携して生徒アンケートを実施し、地域クラブ活動に対する意識を把握するとともに、指導者を対象にコンプライアンスに関する調査を行い、課題の把握と対応策の検討につなげている。

さらに、地域クラブ活動の実施主体である代表者、指導者、保護者を対象としたアンケートも実施し、その結果を踏まえて、必要な人的・財政的支援の在り方について検討を進めている。

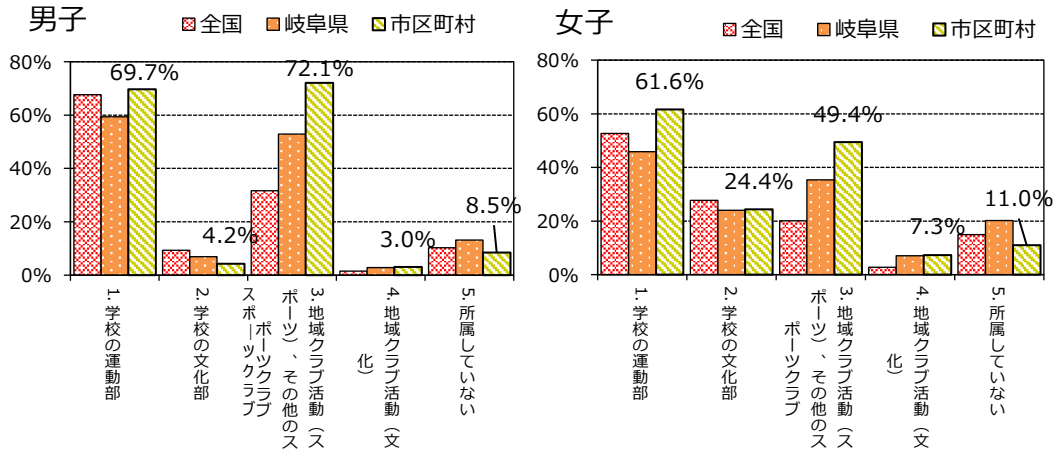
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

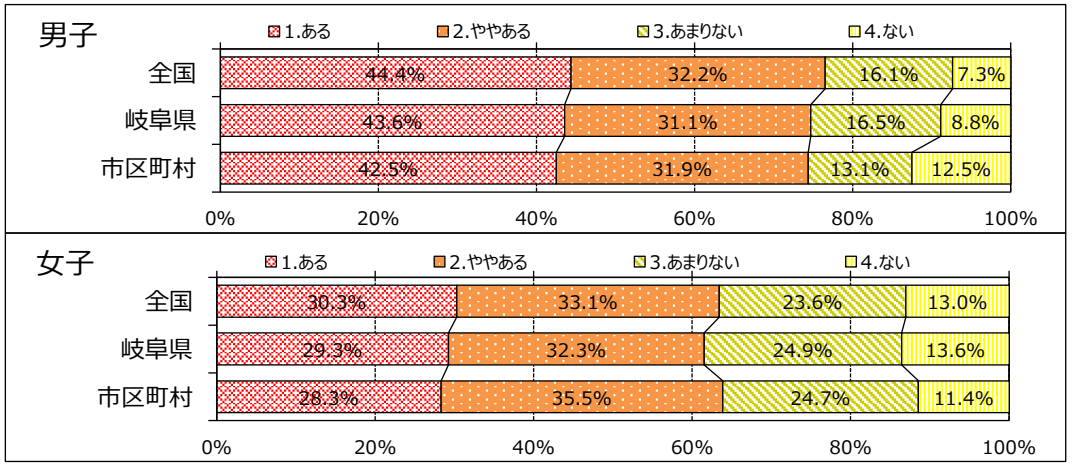
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果　（令和7年度　全国体力・運動能力、運動習慣等調査）

Q4　学校の部活動や地域のクラブ活動に所属していますか。



Q2-⑤運動やスポーツを通じて様々な人が集まって交流したり、つながりや一体感を感じたりすること



●参加者/関係者の声

参加者/関係者①
いろいろな思いがあって担当させていただいた。競技によって違うことを実感できた。まずは子どものことを考えながら活躍できる環境づくりができたのではないかと思う。作成したガイドラインにそってクラブ活動を行っていきたい。

参加者/関係者②
いろいろな団体がありいろいろな意見があると思うが、このような会議でいろいろな意見を聞いていただけて、ありがたかった。課題としては中学生5人が壁となるが子どもたちが好きなクラブを選べられるよう進んでいくことを願っている。

参加者/関係者③
中体連を代表して参加させていただいた。先生方にもしっかりガイドラインの趣旨を広める必要を感じた。保護者の熱い思いを伝えながら、ガイドラインを広めていきたい。

参加者/関係者④
部活動の地域展開は念願であった。教育委員会が主体となり進めていただいたことに感謝している。生徒たちの運動・文化活動をすすめるのに行政が入っていただき母体ができたことに感謝している。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料



【 スポーツ指導者養成講習会 「子どもとハラスメント」
講師 中部大学生命健康科学部教授 伊藤 守弘氏 】



【 スポーツ指導者養成講習会 「スポーツ障害と応急処置」
講師 小薗井接骨院院長 小薗井 勝広氏 】



【 7月 各中学校の部庫の状況を確認 】



【第6回 地域クラブ準備委員会の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和7年 → 令和8年

準備委員会設置、検討開始 → **課題の把握 目的・方針の決定 施設状況の把握** → **ガイドラインの検討 支援、補助** → **ガイドライン決定 名称決定** → **説明会実施 申請受付** → **設立総会 広報**

主催　恵那市教育委員会スポーツ課

- 経過

第1回　地域クラブ準備委員会
令和7年4月3日（木）
1）委員の委嘱
2）研修
「地域クラブ設立の背景と目的」
3　議事
① 恵那市地域クラブの設立
② 準備委員会の役割
③ スケジュール
4 意見交換

- 課題
  - ガイドラインの策定
  - 運営主体の速やかな設置
- 工夫
  - 研修を実施し、国、県の動向を共有

主催　恵那市教育委員会スポーツ課

- 経過

第2～4回　地域クラブ準備委員会
2回　令和7年4月22日（火）
3回　令和7年5月21日（水）
4回　令和7年6月24日（火）
3　議事
① 目的と方針の検討
② ガイドラインの検討
③ スケジュール
4　意見交換

- 課題
  - 支援、補助の内容
  - 生徒希望による名称決定
- 工夫
  - 県コーディネーターからの情報提供
  - 他自治体の先行事例を参考

主催　恵那市教育委員会スポーツ課

- 経過

第5～6回　地域クラブ準備委員会
5回　令和7年12月19日（金）
6回　令和8年2月17日（火）
3　議事
① 恵那市地域クラブ名称決定
② 国、県の動向
③ 説明会・設立総会
④ 申請
4　意見交換

- 課題
  - 支援、補助の具体
  - 設立のスケジュール
  - 文化系への支援
- 工夫
  - 生徒希望調査結果の提示
  - 他市の状況の報告

主催　恵那市教育委員会スポーツ課

- 経過

認定書授与式
令和8年3月18日（木）
内容
① ビジョン共有
② 認定書授与
③ 運営委員会紹介
④ 補助金、保険案内
⑤ 事故防止、緊急連絡
⑥ 講演：生徒の可能性を広げる
「スポーツハラスメントZERO協会」

- 課題
  - 補助金の申請のスケジュール
  - 認定クラブ以外の団体への周知
  - 新規クラブ活動の認定のあり方
- 工夫
  - 参加者とのビジョン共有
  - 講話によるハラスメントゼロの観点からのチーム作り

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和8～10年度「改革実行期間（前期）」	中間評価	令和11～13年度「改革実行期間（後期）」

休日部活動の完全移行　早期実現

平日部活動の移行の早期実現

国による平日クラブ在り方検証

令和9年度　学習指導要領改訂見込み

令和8年

令和9年

運営競技会設置 入部案内 → 課題の把握 状況の把握 → 指導者研修 生徒アンケート → 実態把握 報告 → 入部案内 申請受付 → 振り返り スケジュール

- 運営協議会①
  - 組織づくり
  - スケジュール
  - 認定認証
- 代表者・指導者会①
- 指導者研修
- 運営協議会②
  - アンケート
  - 進捗
  - 課題検討
- 代表者・指導者会②
- 認定申請
- 運営協議会③
  - 活動報告
  - 振り返り

- 新規入部案内 パンフレット配布
- HP更新 紹介動画公開
- 新規登録
- 入学説明会　入部案内 パンフレット配布

- 体験会
- 中体連夏季大会
- 体験会
- 中体連冬季大会